**令和７年度 岩手県生コンクリート品質管理監査会議 独自の調査項目**

**C　実地調査（追加調査）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 項　　目 | 監　　査　　基　　準 | 調　　　　　査 | 判　　　　　定 | 監査時のﾒﾓ |
| ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ | 結　　　果 |
| 2. 製品の検査 | 当日の圧縮強度試験結果（材齢28日）※ 材齢28日の供試体が無い場合は，材齢7日の圧縮強度試験を行い，7日と28日の関係式から材齢28日の圧縮強度を推定する。● 配合：　　　　　　　　　　　　　● 関係式：　　　　　　　　　　　　● 供試体サイズ●φ100mm×200mm　□●φ125mm×250mm　□●載荷時間：載荷直後から終了までの1/10秒を四捨五入して**整数に丸める**。　●載荷速度：小数点以下1桁に丸める。 | ●圧縮強度試験の結果**（π：3.1416を用いて計算）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | 質量 (kg) | 最大荷重 (kN) | 圧縮強度 (N/mm2) | 載荷時間 (秒) | 載荷速度（N/mm2/秒） |
| 1 |  |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |  |
| 平均 |  |  |  |  |  |

 |  |
| (1) 圧縮強度試験の試験方法　D1001(JIS A 5308　10.2.1圧縮強度，JIS A 1108) | a：JISに適合しているc：JISに適合していない | a □　c □ |
| (2) 載荷速度の適合性の確認　D1002　JISの載荷速度：0.6±0.4N/mm2/s | a：3本ともJISに適合しているb：1本ないし2本がJISに適合していないc：3本ともJISに適合していない | a □　b □ c □ |
| (3) 圧縮強度の適合性の確認　D1003 | a：SL以上　　b：0.85SL以上 ～ SL未満c：0.85 SL未満 | a □　b □ c □ |
| 圧縮強度試験用供試体の作製 | (1) 圧縮強度試験用供試体の作製方法(JIS A 1132)　D1004 | a：JISに適合しているc：JISに適合していない | a □　c □ |  |
| ｽﾗﾝﾌﾟ又はｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛ-，及び空気量 | (1) ｽﾗﾝﾌﾟ又はｽﾗﾝﾌﾟﾌﾛｰの試験方法(JIS A 1101，JIS A 1150)　D1005 | a：JISに適合しているc：JISに適合していない | a □　c □ |  |
| (2) ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞ後のｺﾝｸﾘｰﾄの評価 D1006 | a：ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸでﾜｰｶﾌﾞﾙb：ｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ不足，砂量が不足c：砂量がやや不足し，粗骨材が分離傾向d：その他（　　　　　　　　　　　） | a □　b □c □　d □ |
| (3) 空気量の試験方法 D1007(JIS A 1128，JIS A 1118，JIS A 1116) | a：JISに適合しているc：JISに適合していない | a □　c □ |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　目 | 監　　査　　基　　準 | 調　　　　　査 | 判　　　　　定 | 監査時のﾒﾓ |
| ﾁｪｯｸﾎﾟｲﾝﾄ | 結　　　果 |
| 2. 製品の検査 | 塩化物含有量 | (1) 塩化物含有量の試験方法 D1008(JIS A 5308　10.6塩化物含有量) | a：JISに適合しているc：JISに適合していない | a □　c □ | その他の機種名： |
| (2) 塩化物含有量測定器の機種名 D1009 | a：ソルメイト－100　　b：ソルターC－6c：カンタブ　　　　　 d：その他 | a □　b □c □　d □ |
| 3. 容積の検査 | 容積 | (1) 単位容積質量の試験方法 D1010(JIS A 5308　10.7容積，JIS A 1116) | a：JISに適合しているc：JISに適合していない | a □　c □ |  |

|  |
| --- |
| **【令和７年度　岩手県生コンクリート品質管理監査会議　特別調査】** |
| 　● 本調査は，岩手県生コンクリート品質管理監査会議が独自に行うもので，全国統一品質管理監査の結果（減点数）に影響するものではありません。 |
| 　● 監査受検工場の廃棄物の堆積ヤード，中和後の排水処理，リスクアセスメント，および廃棄物の処理状況を調査し，今後の品質管理および環境保全の向上を目指すものです。 |
|  |
| **１．廃棄物の堆積ヤード**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　　目 | **種類① コンクリートくず対象** | **種類② 汚泥対象** |
| (1) ヤードの堆積容量 | D2001　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ｍ3） | D2005　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ｍ3） |
| (2) 現在の概数・堆積量 | D2002　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ｍ3） | D2006　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（ｍ3） |
| (3) 保管状態（浸出水の経路など） | D2003a：全て満足□　 b：一部問題あり□　c：改善を要す□ | D2007a：全て満足□　 b：一部問題あり□　c：改善を要す□ |
| (4) 表示を設置しているか | D2004a：全て満足□　 b：一部問題あり□　c：改善を要す□ | D2008a：全て満足□　 b：一部問題あり□　c：改善を要す□ |

　　　**※ 上記(1)，(2)，(3)の項目は，工場側の申告による。** |
| **２．中和後の排水の経路（中和設備がある場合に記入してください）**（1）中和後に別系統からの混入はないか D2009　　　　評価： （　a：すべて満足 □ b ：一部問題点あり □ c ：改善を要す □　）（2）中和設備周辺は清掃されているか D2010　　　　　評価： （　a：すべて満足 □ b ：一部問題点あり □ c ：改善を要す □　） |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **３．リスクアセスメントの実施状況（ポルトランドセメントおよび高炉セメントB種を対象）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項　　　目 | 結　　　果 | 判　定 | 調査時のメモ |
| (1) 危険性・有害性の特定 D2011工場で取扱う化学物質等の危険性または有害性について，安全データシート(SDS)を入手し危険性・有害性を特定している。 | a：取扱っている化学物質のSDSを入手し，危険性・有害性を特定しているb：一部特定していないものがあるc：特定していない | a □b □c □ |  |
| (2) リスクの見積り D2012　特定した化学物質について，作業種類ごとにリスクを見積もっている。 | a：リスクを見積もっているb：一部でリスクを見積もっていないc：リスクを見積もっていない | a □b □c □ | 【リスクの見積もり方法を記入】コントロールバンディング □マトリックス法　　　　　 □その他（　　　　　 　　）□ |
| (3) リスク低減措置の内容の検討 D2013　作業種類ごとに見積もったリスクについて，リスクを低減させる方法を検討している。 | a：全ての作業でリスクを低減させる方法を検討しているb：リスクを低減させる方法を検討していないものがあるc：全ての作業でリスクを検討していない | a □b □c □ |  |
| (4) リスクアセスメント結果の労働者への周知 D2014　リスクアセスメントを行った結果について，取扱う化学物質の危険性または有害性を労働者に周知している。 | a：労働者に周知しているb：労働者への周知が不十分であるc：労働者に周知していない | a □b □c □ | 【ﾘｽｸｱｾｽﾒﾝﾄ結果の周知方法を記入】 |

 |
|  |

|  |
| --- |
| **４．廃棄物の処理状況**(1) 残コン・戻りコンの有無 D2015　　a：有る □　　c：無い □  ● 有る場合・その処理方法：D2016 a：コンクリートくずとして処理 □　　b：再生路盤材として再利用 □　　c：その他の再利用 □　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ● 無い場合・その理由：D2017　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 (2) 令和6年度のコンクリートくず・汚泥の排出量（合計） D2018　　 ● a：0トン（t）以上　 250トン（t）未満　 □　　● b：250トン（t）以上 500トン（t）未満　□　　 ● c：500トン（t）以上 1,000トン（t）未満　□　　● d：1,000トン（t）以上 　　　　　　　　　 □　　※　廃棄物の重量（t）＝廃棄物の容積（m3）×産業廃棄物種類別重量換算係数　　※　産業廃棄物種類別重量換算係数● コンクリートくず：1.0　　● 汚泥：1.1(3) 令和6年度の廃棄物の排出量の出荷量に対する割合 D2019　　●　廃棄物の排出量（m3）：　　　　　　 ●　出荷量（m3）：　　　　　　 　　　　●　廃棄物の排出量（m3）／出荷量（m3）：　　　　　　 （％） |
| **５．有資格者数の調査**　● 化学物質管理者の人数　　　　　D2020 ：　　　　　　 名　● 保護具着用管理責任者の人数　 D2021 ：　　　　　　　名　 |

|  |
| --- |
| **【　特記・気付き事項　】** |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |
|  |

１．実施年月日　　　　　２０２５　年　　　　月　　　　日

２．会社名・工場名

監査員(正)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　監査員(副)